



2008年3月10日

各 位

会社名 東急建設株式会社  
代表者名 取締役社長 市川正美  
(コード番号 1720 東証第1部)  
問合せ先 経営企画室長 落合 正  
(TEL. 03-5466-5016)

## 新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本年度を最終年度とする中期3か年経営計画「Value-up 3計画」のもと、企業価値の増大を図るべく建設業における受注機会の創出や収益力の向上、財務基盤の健全化に取り組んでまいりました。その結果、有利子負債の一掃や配当の実施など、一定の成果を上げてまいりました。

一方で、公共工事の減少や資機材・労務コストの上昇など、建設業界を取り巻く経営環境は変化しており、熾烈な企業間競争が当面続くものと思われま

す。このようななかで当社は、安定した収益基盤の確立に向けて ①他社との差別化を図る独自性ある付加価値の創出 ②低コスト実現に向けた抜本的な体制・仕組みの見直し ③従来型の請負業にとらわれない事業領域の拡大 ④企業の継続的成長のための人材力強化 を図るべく、2008年度を初年度とする新たな3か年の中期経営計画を策定しました。

新中期経営計画の遂行により、本業である建設事業の更なる強化と周辺事業分野への積極的な展開を推し進め、いかに厳しい経営環境下においても安定した利益を確保できる企業として、継続的な成長による企業価値の最大化を目指してまいります。

## 記

### 新中期経営計画の概要

1. 計画期間 2008年度～2010年度(3か年)

2. 基本方針 『価値創造のベストパートナーへ』

#### 【3年後のビジョン】

建設事業の技術・ノウハウの深化を基軸に、建設周辺サービスを活かした  
独自性ある価値創造提案によるパートナーシップの構築

### 3. 基本戦略

- (1) 真の競争力強化と強固な収益基盤の確立
- (2) 成長分野への積極的投資と将来に向けた礎づくり
- (3) 永続的に企業が存続するための経営基盤強化

### 4. 重点施策

- (1) 継続優良顧客の満足度向上による当社シェアの拡大
- (2) 東急沿線開発における優位性の確立
- (3) 本格的な競争時代を勝ち抜くための建設コストの低減
- (4) 第二の収益の柱としての不動産開発事業の早期育成

### 5. 目標数値

2010年度において、

連結営業利益	84億円
連結ROA（EBITDA／期末総資産）	4.1%以上

※ 上記の数値は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値とは異なる可能性があります。

以 上